

3D CAD ハイグレードモデリングサービス



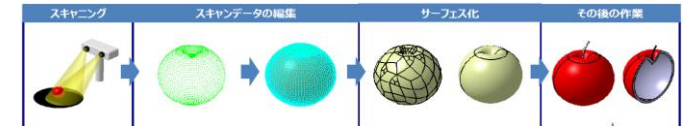
リバースエンジニアリングで、最も難しく時間のかかる
実物から、3Dスキャンした点群データをCADかデータ化します。

利用目的

- ・製品設計、CAE、2D図面
- ・金型製作、意匠デザイン作成、3Dプリンタ出力

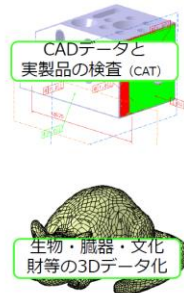
設計情報有無、偏差重視、面品質重視
いずれも、目的に沿った作成が可能。
費用、日程はバラつきありますが、

目的次第では、**安価、短納期も可能**と考えます。



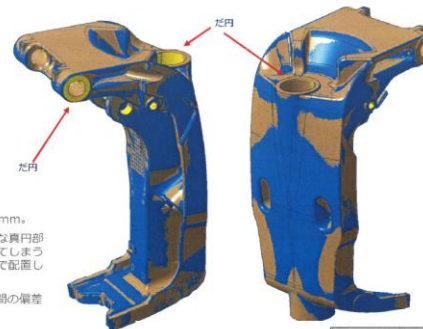
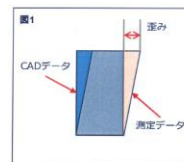
作成工程

使用用途は様々



実物との差異

CATIAにおけるモデリング: 測定されたデータを下絵として活用し、トレースするようにモデリングを実施。測定機の特性上、全体的に「歪み」が生じるため、左右及び上下がずれてしまうが、偏差量を低減させるような近似値にてスケッチ。



右図モデルの偏差量は0.1mm~1.3mm。
スイベルシャフトが回転するような真円部にも歪みが発生し、だ円で測定されてしまうため、おおよその回転軸中心を任意で配置して、寸法定義しながらモデリング。
その為、測定したSTLとCADデータ間の偏差量にばらつきが出てしまう。

茶色: 測定したSTL
青色: 作成したソリッド

3D スキャン機材

● 三次元レーザーデジタルサイザ



X線を照射し、非破壊にて内部構造を観察可能です。付属のソフトウェアでCTデータを点群データ(STL)に出力することが可能です。

メーカー名 (株)島津製作所
型式 SMX-225 CT/SV